

開通区間の整備効果①

物流の効率化による生産性向上と地域開発の促進

○厚木市では、東名や圏央道などの交通利便性を活かした物流拠点の建設が進むなど、工業団地や物流拠点が集積しており、新東名の開通により、更なる物流の効率化による生産性の向上が期待されます

○新東名厚木南IC周辺の自治体では、新たな産業拠点の創出やまちづくりのための土地区画整理事業が進んでおり、新東名の開通が地域開発を促進します



新東名高速道路への期待の声

○物流企業の声

厚木ICを利用しており、最寄の厚木南ICの開通により配送時間の削減やコスト削減を期待している。

○周辺自治体の声

(A市)新東名の開通を意識して、南部産業拠点の整備を進めている。全線開通までには形にしていきたい。

(B市)東名、圏央道、新東名高速道路の各インターチェンジからの交通利便性を活かした「新たな産業基盤の創出」を進めている。

(C市)圏央道や新東名の整備効果も活かした新たな産業の創出や魅力ある施設の誘致によって、居住人口の増加や広域的な交流連携、雇用の創出等により、市全体への経済活動の波及を期待している。